

# 島根大学病院の 最新治療 2024 秋

健康維持にお役立て  
いただくことを目的とした  
フォーラムを開催  
いたします。

入場  
無料

テーマ  
1

がんの病理検査  
～病理医の役割としごと～

病理診断科  
教授

新野 大介

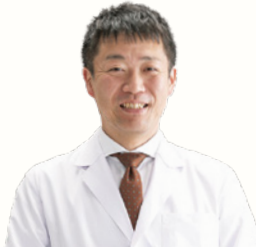


テーマ  
2

ロボットが活躍する  
最新の人工関節手術

整形外科  
助教

まさる  
門脇 俊



テーマ  
3

高齢者弁膜症の  
最新医療

循環器内科  
助教

ひろとも  
佐藤 寛大



開催日時 令和6年

10月6日 日 13時30分～15時30分  
(受付開始 13:00～)

会場 島根大学医学部 臨床小講堂

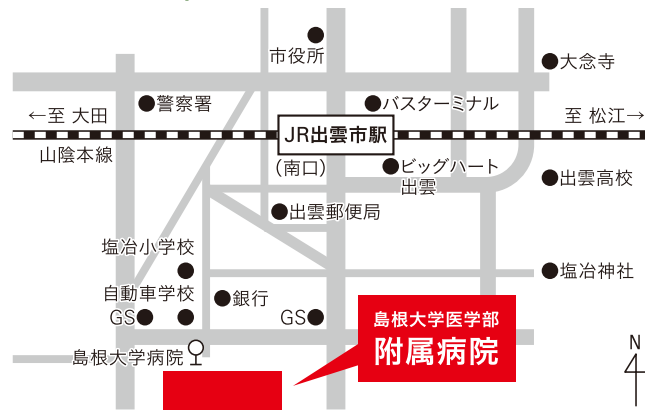
入場料 無料 定員 120名

申込方法 FAX・メール・お電話・QRコードにて受け付けて  
おります。必要事項をご記入の上、お申し込み  
ください。

申込先・お問合せ先 島根大学医学部総務課

主催 島根大学医学部附属病院

## Access Map



申込締切 | 10月3日(木)

参加申込

Tel 0853-20-2019・2531 Fax 0853-20-2025  
✉ mga-koho@office.shimane-u.ac.jp

QRコードからも  
お申込み可能です



●土日祝日は休業日のため、お電話の対応はできかねます。休業中のお申込みはお電話以外でお願いいたします。●当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、事前の申込みにご協力ください。詳細は裏面にてご確認ください。●ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒など感染症対策にご協力ください。●発熱、咳などの症状、またその他体調不良の方はご来場をお控えください。

|           |      |     |                |
|-----------|------|-----|----------------|
| 参加者<br>氏名 | ふりがな | 連絡先 | 電話番号またはメールアドレス |
|-----------|------|-----|----------------|

※駐車場は附属病院駐車場をご利用ください。※ご提供いただきました個人情報は、本フォーラム以外には利用いたしません。

# 市民フォーラムについて –地域で完結する先進医療体制の構築–

当院は、「地域で完結する先進的医療体制の構築」を目指し、県内唯一の医育機関として、多くの医師を養成するとともに、高度で先進的な治療の開発と提供を心がけて参りました。このフォーラムを通じて、市民の方々に「島根大学病院の最新治療」を知っていただき、皆様の健康維持にお役立てくだされば幸いに存じます。



島根大学医学部附属病院長 椎名 浩昭

## 講演会プログラム

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～ 病院長 挨拶

各25分講演+5分質疑応答

### 1 13:35～ 「がんの病理検査 ～病理医の役割としごと～」



病理診断科  
教授 新野 大介

患者さんが病院に来院されると、適切な治療のために適切な診断が必要になります。「病理診断」は最終診断として大きな役割を果たします。患者さんの体より採取された病変の組織や細胞から顕微鏡用のガラス標本が作られます。この標本を顕微鏡で観察して診断するのが病理診断です。そして、この病理診断を専門とする医師が病理医です。病理診断には細胞診断、生検組織診断、手術で摘出された臓器・組織の診断、手術中の迅速診断があります。講演ではこれらの病理医の役割としごとについて詳細にご説明します。最後に当科と浜田医療センターとの間で行っている遠隔病理診断についてご説明します。

### 2 14:05～ 「ロボットが活躍する最新の人工関節手術」



整形外科  
助教 門脇 俊

わが国では高齢化が進行するにつれて関節の老化により痛みを生じる「変形性関節症」の患者さんが年々増加しています。当院ではその手術療法である人工関節置換術を膝・股関節を合わせて年間200件以上実施していますが、より高水準な人工関節置換術を提供するためにロボット手術支援システム「Mako」を導入しました。ロボットが手術を手伝うとどのようなメリットがあるのでしょうか。本講演では変形性関節症とその治療法、そして人工関節手術の概要から最新のロボット支援手術の実際までをご紹介します。

### 3 14:35～ 「高齢者弁膜症の最新医療」



循環器内科  
助教 佐藤 寛大

人間の心臓には、4つの部屋があり、血液が一方方向に流れています。そのために部屋と部屋の間、また心臓から出る大血管には扉(弁膜)が機能しています。ところが、何らかの原因で弁が正常に機能しなくなる病気があります。これが心臓弁膜症です。弁膜症が進行すると、息切れ、動悸、むくみなどの症状が出現し、この状態を心不全と言います。弁膜症は聴診で心雑音を聴取することが診断のきっかけになります。治療は外科的手術が考慮されて、近年、低侵襲治療として足の付け根などの血管に細い管(カテーテル)を挿入することにより弁膜症治療が可能になってきました。日常生活で息切れ、動悸、むくみなどの症状があれば、それは単に「年のせい」ではなく、心臓弁膜症が原因かもしれません。症状に心当たりのある方は早期発見のために医療機関を受診され、聴診を受けて下さい。当院では、他職種他診療科で連携した「ハートチーム」が診療にあたっています。

- 15:05～ 全体質疑応答
- 15:30～ 病院長 閉会挨拶

## 会場案内

島根大学  
医学部  
臨床小講堂

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

お車の方は構内の駐車場をご利用ください。

